



町のすがた

(7月1日現在)

人口 男 3,336人(+3)
 女 3,606人(-7)
 計 6,942人(-4)
 世帯数 1,556 (0)
 ()は6月1日との比較

70年 第88号

発行 昭和50年7月15日
 新潟県三島郡三島町役場
 ☎(025842) 42221
 印刷 長岡市北越印刷機



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
パタパタパタパタ
 ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

6月25日、公民館が長岡市の悠久山で実施した「オリエンテーリング」サイクリングを兼ねて開かれた。おりあしく夕方雨にたたられたが、自分の足で確かめながら自然と語り合うことのできる催しに好評だった。

土用とうなぎ
 七月三十日は「夏」の「土用の丑の日」。そこで土用とうなぎのはなし。
 土用は、曆の雑節の一つで、一年に四回ある。すなわち立夏の前十八日間を春の土用、同様に立秋、立冬、立春の前十八日間をそれぞれ夏、秋、冬の土用という。その初日を「土用の入り」という。しかし「土用の入り」というときは夏の土用を指す。今年の場合、土用の入りは七月二十日になる。
 夏の土用には「土用干し」といって梅雨が明けたら、ハンドバッグ、カバン、手袋、靴、図書などの虫干しをしたりする。また、「土用の丑」といって丑の日にはうなぎを食べるならわしがある。このいわれは何の理由もないが、昔、江戸中期の頃狂歌の名人蜀山人(または博物学者であり戯作者の平賀源内ともいわれる)が、夏枯れで困っている知人のうなぎ屋のぐちを聞き、独特の知恵を働かせて、店頭で「土用丑の日」と大書した看板を出させた。何のことかわからないところにかえって宣伝効果があり、知ったかぶりの江戸っ子がワンサとうなぎを求めた、というのが起源。
 その頃から蒲焼きを専門にする店が出現していたが、明治中期から近年まで、うなぎ屋では客が入ってから生きたうなぎを裂いて調理し、その間客は酒を飲んで待つており、やがてうなぎが焼き上がると、それでご飯にするのが通例であった。

増えるゴミ
 処理に巨額の経費
廃棄物手数料の改正



古い物を見つめよう
 古い物とはかくうとんざられ、そまつにされやすい。われわれの衣食住の生活のすべては、先人たちの生活の知恵を基礎にしている。そして今日の文化、科学、医学、工業等の発達を見、日々その恩恵をこうむっているのである。
 われわれはもつと静かにおちついた心のゆとりをもって、先人た



ちの歩んだ過程に目を向ける必要があるのではないだろうか。つまらないと思われる物でもよく見ればその原理やそのつくりかたには、ほんとうに目を見張るものである。
 特にわれわれは、雪国地帯に残る特色ある民俗資料を通じて昔の生活と今日の生活とを見くらべながら「郷土の民俗資料」として、親から子へ、子から孫へ、あとあとでも大切に伝えたいものである。

六月の定例議会で、廃棄物処理手数料が改正され、八月一日から表のように引き上げられることになりました。
 毎日ゴミやし尿汲み取り量がふえ続けています。
 このふえ続けるゴミや、し尿を処理するには、施設の維持管理などに気の遠くなるような巨額の費用と人手がかかります。
 しかも最近の燃料、処理薬剤、人件費の高騰などによって、町が処理を委託している「長岡地区衛生処理組合」では、手数料を引き上げることを決めています。そのため、町でもこれに見合う額として改正することになったものです。
 表の「廃棄物処理費」は、業務用のゴミを出される事業所にお願しているもので、一般家庭用のゴミは従来どおり無料です。
 ゴミやし尿処理の問題は、私たちの日常生活を清潔に快適に過ごすためどうしても必要なことです。

最大積載量 一〇リットルにつき 三十二円	し尿汲み取り料	一枚につき 八十円	廃棄物処理費	町営ゴミ捨場料金 (運搬車両一台当り)	最大積載量 一〇リットルにつき 三十二円
四三三二一〇 以〇五〇五〇五〇五					六五四三二九四 千千千千八百五 百百百百百百十 円円円円円円円

善意ありがとう
 先日、町の恵まれない人たちのため少しでも役立ったらと、三島中学校の生徒さん三人が合わせて八千円を寄附してくれました。
 この三人は山崎克君(三年)、平原直子さん(一年)、渡辺誠君(二年)で、山崎君と平原さんは「拾得物の満期金」を、渡辺君は与板地区交通安全協会からの「金一封」をそれぞれ寄せてくれたものです。

◇ 幼児の虫歯 ◇
 幼児の虫歯治療ほど、親を泣かせるものはありません。虫歯の原因はもちろん「甘いもの」です与えないですめばそれにこしたことはありませんが無理なこと。決まった時間に与えるのがコツ、2才半をすぎたら食べたあと水でうがいをするを教えましょう。

7、8月 衛生行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
7.18	精神衛生相談	希望者	総合福祉センター	13.00 ~15.00
7.25	乳児検診	生後3ヶ月から1才未満の乳児	〃	13.00 ~15.00
8.8	妊婦検診	妊婦	〃	13.00 ~15.00

新潟県観光写真コンクール

◎ 題材 新潟県を紹介するにふさわしい、まつり行事、芸能などを郷土色豊かに表現するもの。
 ◎ 作品 白黒、カラーいずれでも。(プリントはキャビネ版以上)
 ◎ 応募先 〒951 新潟県庁観光課「県観光写真コンクール係」あて。10月31日まで。

被害を受けてもあきらめずに

自動車にひかれた〜横領された〜詐欺にかかった〜しかし犯人はウソの弁解、検察官はそれを入れ裁判にかけなかった。こんなとき、「長岡検察審査会」にご相談ください。費用はいっさいかかりません。(裁判所内 ☎35-2141)

町の統計

(12)

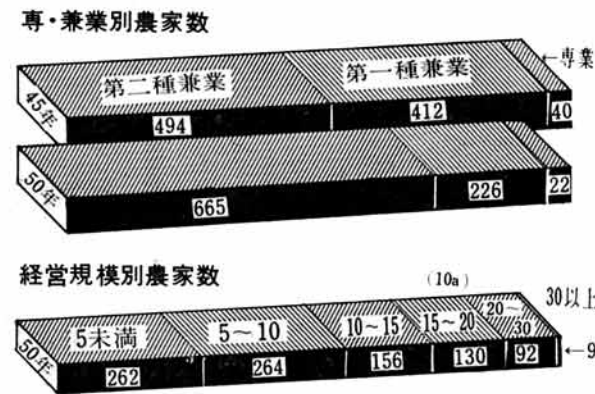
下のグラフは、二月一日現在で行なわれた「一九七五年農業センサス」結果の概略です。

農家数は九百十三戸、五年前の調査と比較して三十三戸、三・五割減少、依然として離農の傾向が続いていることを示しています。

さらに特徴的なことは、農業以外の収入の方が多い、第二種兼業農家が七十三割を占め、四戸のうち約三戸の農家が農業以外に生活の根拠を求めていることです。

「三チャン農業」と言われて久しくなりましたが、今回の調査結果ではこれが「朝晩農業」へと姿を変えてしまっています。

なおグラフは、一般的概念の専業農家でも、世帯員に勤めている人があれば兼業農家（おもに第一種）に含まれています。



第 12 部 (新保) 郡大会でも健闘

六月二十二日行なわれた「消防ポンプ操法競技会」で、第十二部(新保)が小型動力ポンプの部で三年連続第一位となりました。

このあと、七月六日に和島村で開催された郡大会でも確実な操法でがんばり、第二位という素晴らしい成績をあげました。

ことしから小型、自動車の各部に町長、議長賞が贈られることなどもあって、各部とも練習に力を入れ、全体に水準の高い競技会となりました。



よし、水を送れ (自動車隊第3部)

引き続き行なわれた午後の春季演習では、新入団員二十八名を迎えての一日訓練が行なわれたと、小方新団長が、「団員の若い力で町民の信頼にこたえ、予消防を重点に、長く無災害を続けた。」と決意を述べられ、頼もしい「消防団」を強く印象づけた一日でした。

◇おわび
先月号、消防団退団者氏名欄に「分団長稲垣徳司」さんが載っていませんでした。おわびします。



十八日喜びの竣工式

新校舎と旧校舎の全景

緑の中腹にくっきりとそびえる新校舎は、校舎の東側なら町中どこからでもその姿を見ることができる。新校舎で学んだ生徒から、将来、くっきりと目立つりっぱな人になって欲しいと願う町民の気持を象徴しているかのようにも見える。

新校舎落成の喜びを、町民すべてでお祝いするため、十八日までにはまにあうよう、各世帯あて記念品とパンフレットが配られます。

十九、二十日の両日は、一般公開の日にあてられ、どなたでも自由に校舎の内外を見学していただけます。この機会にぜひお出かけください。

新校舎は五日、町が引き渡しを受け、九日、十日の両日は、父兄生徒総動員で、机、いすなどを新校舎に移す、大がかりな引越し作業も行なわれました。

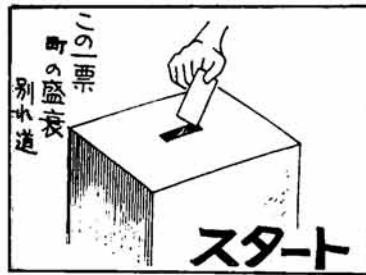
一方、グラウンドの野球バックネット、国旗掲揚塔も完成しました。このあと旧校舎の解体、とりこわしと体育館と新校舎を連絡する廊下の工事が行なわれ、関連する工事がすっきり終わるのは十月末の予定です。

昨年の七月三十日に起工以来工事期間十一か月間、あらゆる工事が順調に運び、新しい中学校の校舎が完成しました。

今月十八日午前十時から、中学校体育館に関係者二百名を招いて喜びの竣工式が行なわれます。なお、校舎の全容、工事経過などについては、来月号で詳しく紹介いたします。

金脈選挙はゴメンです

▼この一票に豊かさ託す よく、県や村の政治のことでクチる人がいる。そういう人に限って棄権したがる。なんの選挙でもこの一票が暮らしを豊かにすることをお忘れなく。



あとわずかで最も身近な町議選の告示つまり選挙戦が始まる。

ところで選挙といえば、付きものような「違反」。現ナマあり、酒あり、商品券などなど。新聞をにぎわす、よそにあるようなことは、ぜったいに三島町で起してもらいたくない。

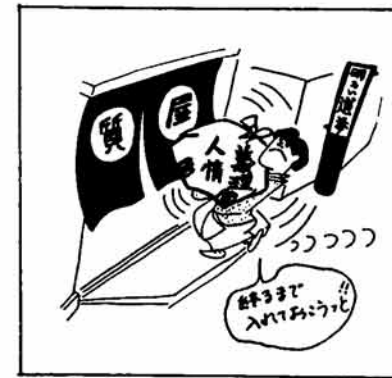
正しい選挙も有権者次第、そこで題して「正しい選挙双六」を一読を!!

有権者のぎぜんさ大切

▶お酒はお酒を捨てちまえ 選挙にお酒は付き物……などといつてすましていては困る。そうじゃないですか。車の運転だって酒で方向を誤る。選挙だって同じこと。



▼選挙に義理人情は禁物 最近薄くなったと嘆かれる「義理人情」。選挙となると、からんでくる。これでは義理人情のほうで迷惑する。正しい判断に義理人情は禁物である。



「われ、選挙において後悔せず」かの、剣豪宮本武蔵が、いみじくも言った戒めの言葉に「われ、事において後悔せず」というのがある。この精神、選挙にも生かしてみたいものだ。候補者の日ごろの言動をよく見、よく考えて投票したい。それでこそ「われ、選挙において後悔せず」となる。

町議会議員一般選挙

■ 告示 8月3日(日)

■ 投票日 8月10日(日) 午前7時~午後6時。町議会議員の定数は18人です。

■ 投票できる人 町に住民票が作成された日(転入者は転入届けをした日)から引き続き3か月以上(7月27日の登録基準日以前)住民基本台帳に記載されている人で、満20才以上の人(町外転出者は投票できません。)

■ 立候補できる人 今回の選挙の選挙権を有する満25才以上の人。

■ 一般の不在者投票 投票当日、都合が悪く投票所に行ける見込みのない人は告示の日から9日までの間に、不在者投票をすることができます。

■ 郵便による不在者投票 選挙人で「身体障害者手帳」、「戦傷病者手帳」の交付を受けており、しかも定められた重い障害のある人によって、現住する場所で、郵便によって投票できる制度があります。選挙に関する疑問の点は早めに選管事務局におたずねください。



7月20日は町民体育祭 ~会場/脇野町小学校グラウンド~

おもな競技プログラム

- 春よこい
- 七つの子
- 浦島太郎
- でんでん虫
- 大黒様
- 電車ゴッコ
- 二宮金次郎
- あなたと共に
- 花咲じじい
- 証成寺のたぬきばやし
- 帽子どり
- おふくろさん

夏の交通事故防止運動

- 7月21日~8月20日
 - 行楽は無理のない日程で
 - 飲酒運転はやめてください
- ~ゆつくり走ろう越後路を~

